

おこ  
ラザレフ&日本フィルが呼び熾す  
グラスノフ・ルネッサンス!  
~【ラザレフが刻むロシアの魂Season IV】スタート

ALEXANDER  
LAZAREV

指揮:アレクサンドル・ラザレフ  
[桂冠指揮者兼芸術顧問]

Conductor: Alexander LAZAREV, Conductor Laureate

【ラザレフが刻むロシアの魂  
SeasonIVグラスノフ1】

ショスタコーヴィチ:  
ヴァイオリン協奏曲第1番 イ短調 op.77

Dmitri SHOSTAKOVICH: Concerto for Violin and Orchestra No.1 in a-minor, op.77

グラスノフ:  
交響曲第5番 変ロ長調 op.55

Alexander GLAZUNOV: Symphony No. 5 in B-flat major, op.55

ヴァイオリン:郷古 廉  
Violin: GOKO Sunao



料金 (消費税込)

2016年6月29日(水)

お申込み・お問い合わせ / 日本フィル・サービスセンター

S ¥7,700 A ¥6,500 B ¥5,700  
C 完売 P ¥3,700 Ys(25歳以下) ¥1,500

※Ys席は日本フィルでのみ扱います。S席以外から選べます。※未就学児の入場はご遠慮ください。※出演者、曲目等は変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。※車いすの方、障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターまでお問い合わせください。

[TEL] 03-5378-5911 (平日10:00~17:00) [FAX] 03-5378-6161 (24時間)  
日本フィルeチケット♪ [www.japanphil.or.jp](http://www.japanphil.or.jp) (席を選んでお申込みできます)

▶ チケットぴあ ... (0570) 02-9999 <http://pia.jp/l/japanphil> Pコード/302166  
▶ e+【イープラス】 ... <http://eplus.jp>  
▶ ローソンチケット ... (0570) 000-407 (オペレーター) <http://l-tike.com> Lコード/36796  
▶ サントリーホールチケットセンター ... 0570-55-0017

託児サービス  
(事前申込制・有料)

イベント託児®  
マザーズ  
TEL 0120-788-222  
(平日10:00 - 17:00)

# ラザレフ&日本フィルが呼び熾す グズノフ・ルネッサンス

JAPAN  
PHILHARMONIC  
ORCHESTRA  
685th  
SUBSCRIPTION  
CONCERTS

プロコフィエフからはじまりラフマニノフ、スクリャービン、ショスタコーヴィチとつながってきたラザレフ&日本フィルの「ロシアの魂」シリーズ。2016年9月から桂冠指揮者兼芸術顧問となるラザレフと次に取り組むのがグズノフ(1865-1936)です。

生前はソ連音楽界の大家と知られながらも、晩年は亡命同然で国から逃がれた数奇な人生。そしてグリムカ、チャイコフスキー、ボロディンといったロシア音楽の正統なる継承者にもかかわらず、20世紀に入ってからは「時代遅れ」との声もあり、実力に比して必ずしも高い評価を得られなかったグズノフ。そんなイメージをラザレフがきつと打ち破ってくれることでしょう。ラザレフと日本フィルは本気で「グズノフ・ルネッサンス」を実現させます!

前半にはグズノフとは40歳以上の年齢差にも関わらず強い結びつきのあったショスタコーヴィチのヴァイオリン協奏曲第1番を演奏します。冷たい戦慄が全編を貫く異形のコンチェルトのソリストは郷古廉。数あるショスタコーヴィチ作品の中でも、非常に高い「抑圧」と「狂気」が渦巻く作品を通じて、知的で眼光鋭い郷古のヴァイオリンが、「猛将」ラザレフとどのように対峙(時には対決?!)するのか、今から期待が高まります。

## 東京定期土曜限定プレトーク 「本日の聴きどころ」

毎回、これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等をご紹介します。

13:00 プレトーク開場

13:10 プレトーク開始

(1階席1列~14列でお聞きください)

13:25 プレトーク終了

13:30 一般開場

14:00 開演

## アレクサンドル・ラザレフ 桂冠指揮者兼芸術顧問

Alexander LAZAREV

ロシアを代表する指揮者の一人。2008年9月から日本フィル首席指揮者。就任とともに3年に渡る「プロコフィエフ交響曲全曲演奏プロジェクト」を開始。1秒たりとも無駄にしない徹底したリハーサルで演奏水準を引き上げ、「ラザレフ効果」と評される。2011年9月から5年の契約を延長し、「ラザレフが刻むロシアの魂」をスタート。「SeasonI ラフマニノフ」では、初回から作曲家の人間性にまで深く迫っていく解釈と、妥協なくその解釈を表現させる演奏で会場を熱狂させ、歴史的な作品の評価までも変える名演となった。続く「SeasonII スクリャービン」では、日本人には馴染みの薄いスクリャービンの独特な色彩的・神秘的な世界を分かりやすくダイナミックに提示して話題を集め、2年にわたる「SeasonIII ショスタコーヴィチ」では緻密かつ圧倒的な演奏で会場を熱狂させた。

ラザレフはモスクワ音楽院でL.ギンズブルグに師事、同音楽院を首席で卒業している。数々のコンクールを制し、1987年から1995年にかけてポリショイ劇場の首席指揮者兼芸術監督を務め、黄金時代を築いた。

数多くのCDをリリースしており、ポリショイ管、BBC響、ロンドン・フィル、ロイヤル・スコッティッシュ・ナショナル管等との録音があり、日本フィルとは就任以来合計14枚のディスクをリリースしている。



## 郷古 廉

ヴァイオリン

GOKO Sunao

宮城県多賀城市出身。

2013年8月ティボール・ヴァルガ シオン国際ヴァイオリン・コンクール優勝ならびに聴衆賞・現代曲賞を受賞し、国内外で注目される。

06年第11回ユーディ・メニューイン青少年国際ヴァイオリンコンクールジュニア部門第1位(史上最年少優勝)。以来、日本各地のオーケストラよりソリストとして招かれている。共演した指揮者にはゲルハルト・ボッセ、井上道義、小泉和裕各氏などがいる。国内各地でリサイタルを行う傍ら、11年、12年、14年と《サイトウ・キネン・フェスティバル松本》でストラヴィンスキー作曲「兵士の物語」に出演。

現在、ウィーン私立音楽大学にて研鑽を積みながら、ヨーロッパと日本において活躍の場を広めている。

勅使河原真実、ゲルハルト・ボッセ、辰巳明子、パヴェル・ヴェルニコフの各氏に師事。国内外の音楽祭でジャン・ジャック・カントロフ、アナ・チュマチェンコの各氏のマスタークラスを受ける。14年オクタヴィア・レコードより無伴奏作品によるデビューCDを、15年にはnascorレーベルよりブラームス：ソナタ全曲集をリリースした。

使用楽器は1682年製アントニオ・ストラディヴァリ(Banat)。個人の所有者の厚意により貸与される。



次回

## 第686回東京定期演奏会

2016 12.9(金) 18:20 開場/19:00 開演 10(土) 13:30 開場/14:00 開演 サントリーホール

### プログラム

湯浅譲二：始源への眼差Ⅲ

ブラームス：ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲 イ短調 op.102

シューマン：交響曲第3番 変ホ長調 op.97《ライン》

### 料金 (消費税込み)

S ¥7,200 A ¥6,000 B ¥5,200 C 完売 P ¥3,200 Ys(25歳以下) ¥1,500



指揮：  
飯守 泰次郎



ヴァイオリン：  
千葉 清加



チェロ：  
辻本 玲